

訪問看護リハビリステーション愛あい
運営規程（訪問看護・介護予防訪問看護）

（事業の目的）

第1条 一般社団法人心酔が開設する、訪問看護ステーション愛あい（以下「事業所」という。）が行う訪問看護及び、介護予防訪問看護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するための人員及び管理運営に関する事項を定める。この事業は、疾病、負傷等で寝たきりの状態またはこれに準ずる状態にあり、かかりつけの医師が訪問看護の必要を認めた高齢者に対し、看護師等が訪問看護して、療養上の世話または必要な診療補助を行うとともに、在宅福祉サービス及び保健サービスとの連携・提携を図り、在宅要介護者・要支援者の生活の質の向上を図ることを目的とする。

（運営の方針）

- 第2条 訪問看護の実施にあたっては、関係市町村、地域の医療、保健、福祉サービス機関、地域包括支援センター、住民による自発的な行動による介護予防、訪問サービスを含めた地域における様々な取り組みを行う者と密接な連携に努め、協力と理解のもとに適切な運営を図るものとする。
- 2 指定訪問看護（介護予防）の実施にあたっては、かかりつけの医師の指示のもと、対象者の心身の特性を踏まえて、生活の質の確保を重視し、健康管理、全体的な日常動作の維持・回復を図るとともに、在宅医療を推進し、快適な在宅療養が継続できるように支援するものである。
 - 3 指定（介護予防）訪問看護を行う事業所は、開設事業者とは独立して位置づけるものとし、人事・財務・物品管理等に関しては管理者の責任において実施する。

（事業所の名称等）

第3条 指定訪問看護（介護予防）を行う事業所の名称及び所在地は、以下の通りとする。

- （1） 名 称 訪問看護リハビリステーション愛あい
- （2） 所在地 〒039-1526 青森県三戸郡五戸町字下長下タ 91 番地 8

（職員の職種、員数及び職務内容）

第4条 事業所に勤務する職種、員数及び職務内容は、以下の通りとする。

- （1） 管理者 常勤1名
 - ① 主治医との連絡調整及び報告
 - ② 訪問看護師の管理
 - ③ 訪問看護の知識・技術の質を保持するための助言指導
 - ④ 利用者の状態把握とサービスの査定
 - ⑤ 利用者の看護方針、手順の作成
 - ⑥ 利用者の記録保存・管理
 - ⑦ 関係機関との連絡調整
 - ⑧ 事業計画、事業報告の作成

- ⑨ 設備、備品等の衛生管理
- ⑩ 管理事務処理並びに経理処理
- (2) 訪問看護師又は准看護師 (令和6年1月2日現在)
 - 常勤換算 (2.5以上)
 - 管理者 (看護師) 1名
 - 看護師 (常勤・非常勤) 5名以上
 - 准看護師 (常勤・非常勤) 2名
 - ① 利用者の状況把握とサービスの査定の協力
 - ② 訪問看護計画の作成及び訪問看護の実施
 - ③ 訪問看護実施内容の記録及び報告
 - ④ 必要に応じ主治医との連絡調整
 - ⑤ 管理者への協力
- (3) 理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士
 - 作業療法士 (常勤2名)
 - 理学療法士 (常勤1名)
 - ① 在宅における計画的なリハビリテーションの実施
 - ② 看護師との連携による訪問看護計画書と訪問看護報告書の作成
 - ③ リハビリテーション実施内容の記録及び報告

(営業日・営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、以下の通りとする。

- (1) 営業日
 - 原則として月曜日から金曜日までとする。
- (2) 営業時間
 - 平日：午前8時30分から午後5時30分までとする。
- (3) 24時間体制
 - 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(指定訪問看護 (介護予防) の提供方法)

第6条 指定 (介護予防) 訪問看護の提供方法は、以下の通りとする。

- (1) 利用者が主治医に申込み、主治医が交付した訪問看護指示書 (以下「指示書」という。) により、看護師等が利用者を訪問して計画書を作成し、指定訪問看護 (介護予防) を実施する。
 - (2) 利用者又は家族から事業所に直接連絡があった場合は、かかりつけの医師の指示書の交付を求めるように助言する。
- 2 いずれの場合も、看護の内容や訪問回数等を利用者又は家族に説明し、了承の上、訪問を開始する。

(指定訪問看護(介護予防)の内容)

第7条 指定訪問看護(介護予防)の内容は、以下の通りとする。

- (1) 病状・障害・全身状態の観察
- (2) 清拭・洗髪・入浴介助等の清潔の保持、食事及び排泄等日常生活の援助
- (3) 褥瘡の予防・処置
- (4) ターミナルケア
- (5) 認知症患者の看護
- (6) 療養生活や介護方法の教育助言
- (7) カテーテル等の管理
- (8) 在宅におけるリハビリテーション
- (9) 在宅療養を継続するための必要な援助相談
- (10) その他医師の指示による処置

2 サービスの回数と時間

(1) 介護保険の対象者

介護保険の要介護・要支援の認定を受けられた方で、「厚生労働大臣が定める疾病等」で無い方は、居宅サービス計画に沿った訪問回数とし、訪問時間は20分未満・30分未満・1時間未満・1時間30分未満のいずれか、又は、利用者の希望と必要性により、それ以上の時間も可能とする。

(2) 医療保険の対象者

- ① 介護保険の要介護・要支援の認定を受けた方で、「厚生労働大臣が定める疾病等」の方は、回数の制限はなしとする。
- ② ①以外の方は、週3日までの訪問看護とする。又、1回の訪問看護時間はおおむね30分から1時間半程度とする。
- ③ 但し、利用者が急性増悪等により一時的に頻回の訪問看護を行う必要がある旨の『特別指示書』の交付があった場合、交付の日から14日間に限り訪問回数の制限はない。また、介護保険の対象者であっても、その期間は医療保険の対象者となる。

(利用料)

第8条 利用料金等は、以下の通りとする。

介護保険指定訪問看護(介護予防)を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該指定訪問看護が法定代理受領サービスである時は、その一割の額とする。料金表は別添の通りとする。

- 2 要介護・要支援の認定を受けていない方で、後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方は、1日につき基本利用料として、高齢者の医療の確保に関する法律 第78条第4項に規定する厚生労働大臣が定める額を徴収する。交通費は本条第7項に準ずるものとする。
- 3 要介護・要支援の認定を受けていない方で、老人医療受給者証をお持ちでない方(健康保険証をお持ちの方)は、健康保険法等で定める負担割合に基づく額を徴収する。交通費は別添利用料金表の通りとする。

- 4 1 以外で主治医がその治療の必要につき省令で定める基準に適合していると認められた方には、利用料金は、健康保険法等で定める負担割合に基づく額を徴収する。交通費は別添利用料金表の通りとする。
- 5 利用者の申出による日常生活上必要とする物品等は実費を利用者が負担する。
- 6 利用料金は原則として、口座振替とするが、利用者の希望により、訪問時毎、または、1ヶ月毎の現金による集金も可能とする。
- 7 その他の利用料金は以下の通りとする。
 - (1) 介護保険
通常の事業の実施地域（第11条に定める地域）を越えて行う介護保険指定訪問看護に要した交通費は実費を徴収する。
自動車を使用した場合の交通費は通常の実施地域を越えてから、片道1km以上につき30円を徴収する。
 - (2) 医療保険
 - ①利用者の申出による休日または17時以降の時間外に訪問した際の訪問看護料金
 - ②利用者の申出による長時間に当たる訪問料金
 - ③利用者の申出による死後の処置にともなう費用
 - ④指定訪問看護を開始するにあたり、あらかじめ利用者や家族に対し、指定訪問看護の内容及び利用料について説明し、理解を得るものとする。
 - ⑤交通費は片道1km以上につき30円を徴収する。
- 8 料金については、あらかじめ利用者や家族に文章で説明し、利用料について理解を得て、支払に同意する旨の文章に署名をしてもらうこととする。
- 9 当日のキャンセル料については、2,000円を徴収する。

(緊急時等における対応方法)

第9条 緊急時の対応方法については、予めかかりつけの医師、利用者の状態を確認し指定訪問看護（介護予防）を開始するものとする。

- 2 訪問看護師等は、指定訪問看護（介護予防）実施中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかにかかりつけの医師に連絡し、適切な処置を講じるものとする。かかりつけの医師と連絡が出来ない場合には、緊急搬送等の必要な処置を講じるものとする。
- 3 訪問看護師等は、前項についてしかるべき処置をした場合は、速やかに管理者及び主治医に報告しなければならない。

(業務継続計画BCPに向けた取り組み)

第10条 厚生労働省老健局作成の業務継続計画（BCP）ガイドラインを基本とし、当社独自に策定した業務継続計画（BCP）に基づき、今後起こりうる感染症拡大および自然災害が発生した場合、一日も早く業務再開に向けた研修・訓練・周知を徹底することに努める。

(感染症対策の予防)

第11条 当社、感染症マニュアルに基づき、委員会の設置・開催、担当者を定める等、全職員による研修・訓練・周知・検討を重ねることに努める。

(自然災害発生時の対策)

第12条 当社、自然災害対策マニュアルに基づき、委員会の設置・開催、担当者を定める等、全職員による研修・訓練・周知・検討を重ねることに努める。

(高齢者虐待防止・身体的拘束等の適正化の推進取)

第13条 虐待防止および身体的拘束への取り組みについて、独自に作成したマニュアルの内容を基本とし、委員会の設置・開催と担当者を定める等、全職員への研修・周知を徹底することにより高齢者への虐待を防止・再発しないことに努める。また、やむを得ない場合は訪問看護記録に記載する。

(ハラスメント対策の強化)

第14条 ハラスメント・暴力への対策マニュアルに基づき、委員会の設置・開催と担当者を定める等、全職員による研修・検討を重ねることとする。

(相談・苦情対応)

第15条 事業所は、利用者からの相談、苦情等に対する窓口を設置し、指定居宅サービス等に関する利用者の要望、苦情等に対し、迅速に対応する。

2 事業所は、前項の苦情の内容等について記録し、その完結の日から5年間保存する。

3 市町村および国民健康保険団体連合会の相談窓口等に苦情を伝えることが出来る。

(介護保険指定訪問看護(介護予防)における通常の事業の実施地域)

第14条 介護保険指定(介護予防)訪問看護における通常の事業の実施地域は、五戸町、南部町、新郷村、八戸市、十和田市のいずれも当事業所より25km圏内とする。

(その他の運営についての留意事項)

第15条 当事業所は、社会的使命を十分認識し、職員の資質向上を図るため、研究・研修の機会を設け、また業務体制を整備する。

① 採用時研修 採用後1ヶ月以内

② 継続研修 年2回

2 職員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 職員であったものに、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密の保持させるため、職員で亡くなった後においても同様とする。

4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、一般社団法人心酔と事業所の管理者との協議に基づき定めるものとする。

第16条 事業所は、その事業の運営に当たっては、青森県暴力団排除条例(平成23年青森県条例第9号)第2条第2号に規定する暴力団を利することとならないようにする。

2 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は事業者と事業所の管理者との協議に基づいて定める。

附則

この規定は平成28年4月1日から施行する。

改定	平成29年4月1日	職員数の変更
改定	平成30年4月1日	職員数の変更
改定	令和1年10月1日	所在地および職員数の変更
改定	令和3年4月1日	職員数の変更
改定	令和6年6月1日	第10条(業務継続計画BCPに向けた取り組み)追加 第11条(感染症対策の予防)追加 第12条(自然災害発生時の対策)追加 第13条(高齢者虐待防止・再発への取り組み)追加 第14条(ハラスメント対策の強化)追加